

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月8日

上場会社名 リバーエレテック株式会社
 コード番号 6666 URL <http://www.river-ele.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若尾 富士男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長 (氏名) 大塩 久男
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月13日

上場取引所 JQ

TEL 0551-22-1211

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	1,911	—	12	—	20	—	0	—
20年3月期第1四半期	2,446	18.2	360	120.6	365	129.6	224	143.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	0.10	—
20年3月期第1四半期	29.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	12,605	8,502	65.0	1,093.44
20年3月期	12,474	8,685	66.9	1,114.01

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 8,191百万円 20年3月期 8,345百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	7.50	—	7.50	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	4,220	—	22	—	12	—	12	—	1.65
通期	9,254	△0.4	493	△50.3	466	△53.3	243	△58.6	32.47

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 7,492,652株 20年3月期 7,492,652株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 1,058株 20年3月期 1,058株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 7,491,594株 20年3月期第1四半期 7,491,594株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年5月12日に公表いたしました連結業績予想は修正していません。

2. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、米国経済の低迷や原油等資源価格高騰の長期化が企業収益・個人消費を圧迫し、景気の減速傾向は一層強まり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、AVチューナー向け小型水晶製品は、堅調に推移いたしました。無線モジュールにおける市場の在庫調整及び販売価格の下落の影響が大きく、売上高は1,911百万円（前年同期比21.9%減）となりました。

また、利益につきましては、引き続き原価低減・固定費削減に努めてまいりましたが、前述の売上高減少及び当第1四半期連結会計期間より適用する「棚卸資産の評価に関する会計基準」による影響により、営業利益は12百万円（同96.6%減）、経常利益は20百万円（同94.5%減）、四半期純利益は0.7百万円（同99.7%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（1）資産、負債及び純資産の状況

当四半期連結会計期間末における資産合計は、受取手形及び売掛金の増加120百万円、繰延税金資産の増加87百万円及び建物及び構築物の減少37百万円等により前連結会計年度末から130百万円増加し、12,605百万円となりました。負債合計は、設備関係支払手形の増加128百万円、長期借入金の増加258百万円及び未払法人税等の減少84百万円等により前連結会計年度末から314百万円増加し、4,102百万円となりました。純資産合計は配当金の支払い56百万円等により利益剰余金の減少が81百万円であったこと、評価・換算差額等の減少72百万円等により、前連結会計年度末に比べ183百万円減少し、8,502百万円となりました。

（2）キャッシュ・フローの状況

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間における税金等調整前四半期純損失は22百万円、減価償却費につきましては、295百万円となりました。他方、法人税等の支払額は153百万円となりました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローは57百万円となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動につきましては、定期預金の払戻による収入312百万円があったものの、定期預金の預入による支出201百万円、有形固定資産の取得による支出183百万円がありました。この結果、投資活動によるキャッシュ・フローは△71百万円となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動につきましては、短期借入金の減少23百万円、長期借入金の返済による支出82百万円、配当金の支払額47百万円があったものの、長期借入れによる収入405百万円がありました。この結果、財務活動によるキャッシュ・フローは251百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、長期化する資源価格高騰の影響による企業収益・個人消費の減速等、景気の先行き不透明感は一層強まるものと思われます。

当社グループにおきましては、現時点においてこの状況が連結業績に与える影響を予測することは困難であり、慎重に見極めたいと考えております。

以上のことから、平成20年5月12日発表の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては変更ありません。

なお、実際の業績は、当社グループを取り巻く環境、市場動向、為替レートの変動等の様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末における棚卸高の算定に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末に係る実地棚卸高を基礎として、合理的な方法により算定する方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② たな卸資産の評価基準及び評価方法

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、従来の方によった場合に比べて、営業利益及び経常利益は、それぞれ29,959千円減少しております。また、税金等調整前四半期純損失は、72,106千円増加しております。

③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これにより、期首の利益剰余金を25,684千円減額しております。なお、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純損失に与える影響はありません。

④ リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができるようになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法を採用しております。

これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純損失に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,585,991	1,552,379
受取手形及び売掛金	2,526,717	2,405,868
製品	237,194	278,409
原材料	302,103	296,485
仕掛品	240,566	277,709
貯蔵品	52,498	58,619
繰延税金資産	251,701	164,628
その他	223,610	155,036
貸倒引当金	△3,644	△3,749
流動資産合計	5,416,739	5,185,387
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,409,810	1,447,470
機械装置及び運搬具（純額）	4,230,346	4,234,957
工具、器具及び備品（純額）	184,796	187,606
土地	472,026	472,026
建設仮勘定	437,193	474,034
有形固定資産合計	6,734,174	6,816,095
無形固定資産		
ソフトウェア	10,778	11,857
その他	22,123	22,597
無形固定資産合計	32,902	34,455
投資その他の資産		
投資有価証券	178,993	164,255
繰延税金資産	74,851	74,970
その他	167,793	199,437
投資その他の資産合計	421,638	438,663
固定資産合計	7,188,714	7,289,213
資産合計	12,605,454	12,474,601

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	890,263	958,617
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
短期借入金	654,422	677,573
1年内返済予定の長期借入金	319,284	255,624
未払法人税等	82,798	167,537
賞与引当金	291,127	230,581
設備関係支払手形	495,800	367,445
その他	425,589	445,656
流動負債合計	3,169,285	3,113,037
固定負債		
長期借入金	691,593	433,134
繰延税金負債	2,686	12,359
退職給付引当金	102,315	97,085
役員退職慰労引当金	136,970	133,010
固定負債合計	933,565	675,588
負債合計	4,102,850	3,788,626
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,070,520	1,070,520
資本剰余金	957,810	957,810
利益剰余金	6,359,860	6,441,013
自己株式	△959	△959
株主資本合計	8,387,230	8,468,383
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	20,412	12,695
為替換算調整勘定	△216,059	△135,385
評価・換算差額等合計	△195,647	△122,689
少数株主持分	311,020	340,281
純資産合計	8,502,603	8,685,975
負債純資産合計	12,605,454	12,474,601

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	1,911,463
売上原価	1,500,013
売上総利益	411,450
販売費及び一般管理費	399,228
営業利益	12,222
営業外収益	
受取利息	4,688
受取配当金	581
為替差益	7,198
その他	2,914
営業外収益合計	15,383
営業外費用	
支払利息	7,276
その他	200
営業外費用合計	7,476
経常利益	20,129
特別損失	
固定資産除却損	30
たな卸資産評価損	42,147
特別損失合計	42,177
税金等調整前四半期純損失(△)	△22,047
法人税、住民税及び事業税	70,386
法人税等調整額	△92,077
法人税等合計	△21,690
少数株主損失(△)	△1,076
四半期純利益	718

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△22,047
減価償却費	295,630
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	60,546
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5,230
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3,960
受取利息及び受取配当金	△5,270
支払利息	7,269
為替差損益 (△は益)	△38
有形固定資産除却損	30
売上債権の増減額 (△は増加)	△180,939
たな卸資産の増減額 (△は増加)	57,740
仕入債務の増減額 (△は減少)	21,078
未収入金の増減額 (△は増加)	△1,641
未払金の増減額 (△は減少)	△1,566
その他	△29,357
小計	210,621
利息及び配当金の受取額	5,402
利息の支払額	△5,407
法人税等の支払額	△153,410
営業活動によるキャッシュ・フロー	57,206
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△201,193
定期預金の払戻による収入	312,557
有形固定資産の取得による支出	△183,917
有形固定資産の売却による収入	1,521
投資有価証券の取得による支出	△1,898
その他	1,200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△71,730
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△23,151
長期借入れによる収入	405,000
長期借入金の返済による支出	△82,881
配当金の支払額	△47,247
財務活動によるキャッシュ・フロー	251,719
現金及び現金同等物に係る換算差額	△58,052
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	179,142
現金及び現金同等物の期首残高	987,369
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,166,512

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報
a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	水晶製品 (千円)	抵抗器 (千円)	インダクタ (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
（1）外部顧客に対する 売上高	1,782,845	60,960	45,734	21,924	1,911,463	－	1,911,463
（2）セグメント間の内部 売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	1,782,845	60,960	45,734	21,924	1,911,463	－	1,911,463
営業利益	231,161	9,890	4,665	8,234	253,952	(241,729)	12,222

（注）1. 事業区分の方法
事業は製品の系列を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
水晶製品	表面実装水晶振動子、スルーホール実装型水晶振動子、クロック用水晶発振器等
抵抗器	炭素皮膜固定抵抗器、不燃性炭素皮膜固定抵抗器等
インダクタ	ラジアルリードインダクタ、チップインダクタ等
その他	複合回路部品列、開閉器等

3. 会計処理方法の変更

（棚卸資産の評価に関する会計基準）

「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を適用しております。この変更に伴い、従来の方によった場合に比べて、水晶製品事業が29,194千円、インダクタ事業が764千円それぞれ営業利益が減少しております。

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	日本 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,440,382	471,081	1,911,463	—	1,911,463
(2) セグメント間の内部売上高	387,112	21,265	408,378	(408,378)	—
計	1,827,495	492,346	2,319,842	(408,378)	1,911,463
営業利益	265,215	3,446	268,662	(256,440)	12,222

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 日本以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア…台湾、シンガポール、マレーシア

3. 会計処理方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を適用しております。この変更に伴い、従来の方によった場合に比べて、日本が29,959千円営業利益が減少しております。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	北米	アジア	その他	計
I 海外売上高（千円）	9,831	624,556	638	635,027
II 連結売上高（千円）	—	—	—	1,911,463
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	0.5	32.7	0.0	33.2

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北米 …米国、カナダ

(2) アジア…シンガポール、マレーシア、台湾、中国、韓国、香港

(3) その他…EU、オーストラリア

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前年同四半期 (平成20年 3 月期 第 1 四半期)
	金 額
I 売上高	2, 446, 450
II 売上原価	1, 648, 892
売上総利益	797, 558
III 販売費及び一般管理費	437, 347
営業利益	360, 210
IV 営業外収益	15, 420
V 営業外費用	10, 333
経常利益	365, 297
VII 特別損失	104
税金等調整前四半期純利益	365, 193
法人税、住民税及び事業税	181, 993
法人税等調整額	△45, 075
少数株主利益	4, 002
四半期純利益	224, 272

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区 分	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	365,193
減価償却費	241,415
貸倒引当金の増減額(減少：△)	△14
賞与引当金の増減額(減少：△)	111,762
役員賞与引当金の増減額(減少：△)	5,000
退職給付引当金の増減額(減少：△)	1,602
役員退職慰労引当金の増減額(減少：△)	3,120
受取利息及び受取配当金	△5,589
支払利息	9,173
為替差損益(差益：△)	△421
有形固定資産除却損	104
売上債権の増減額(増加：△)	△45,783
たな卸資産の増減額(増加：△)	19,614
仕入債務の増減額(減少：△)	117,901
未収入金の増減額(増加：△)	1,675
未払金の増減額(減少：△)	△47,936
その他	△30,337
小計	746,479
利息及び配当金の受取額	5,362
利息の支払額	△8,440
法人税等の支払額	△347,165
営業活動によるキャッシュ・フロー	396,235
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	51,664
有形固定資産の取得による支出	△353,488
無形固定資産の取得による支出	△2,797
投資有価証券の取得による支出	△1,879
投資活動によるキャッシュ・フロー	△306,500
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(減少：△)	△2,590
長期借入金の返済による支出	△114,599
配当金の支払額	△95,930
財務活動によるキャッシュ・フロー	△213,119
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	1,180
V 現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	△122,203
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,382,129
VII 現金及び現金同等物の期末残高	1,259,925